

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経済学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学部・大学院5年一貫のカリキュラム体系を設置し、教育の質を高め、早期卒業制度を利用し、学士号と修士号の授与者数を現在の1名から5年後に5名へ増やす。	→学士号と修士号の授与者数。	B	B			
2. ジョイント・ディグリー制度を活用し、他学部から優秀な学生を入学させ、2つの学士号の授与者数を現在の1名から5年後に5名へ増やす。	→ジョイントディグリー制度を利用して他学部から経済学部に入学者数とその学生のGPA。および、学士号の授与者数。	B	B			
3. 現行の8コース制を5コース制へ再編成し、各コースごとに学部・大学院合併科目（中級・上級科目）を新設する。そして、上位科目の履修者を増やし、KG経済学士力を向上させる。	→学部・大学院合併科目（中級・上級科目）の履修者数とその平均点。	B	B			
4. HPを利用して、新しい5つのコース制や学部・大学院一貫制に基づく新カリキュラム体系を公表し、社会にKG経済学士力の内容を周知させる。	→HPの作成・更新とアクセス数。	C	B			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.1.1	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 明示している <input checked="" type="radio"/> 明示していない
	(学位授与方針) (説明) 学位授与方針の明文化は検討中である。ディプロマポリシー策定委員会を立ち上げ検討し、教授会で審議する予定である。
小項目6.1.2	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 明示している <input checked="" type="radio"/> 明示していない
	(編成・実施方針) (説明) 現在検討中の新カリキュラムと並行して作成予定のため、教育課程の編成・実施方針の明文化はまだ検討されていない。
★ 小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
	(周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 周知・公表している <input checked="" type="radio"/> 周知・公表していない
	(説明) 教育目標は、学生には授業科目履修心得を通して周知。社会へは、ホームページを通じてお知らせしている。現在検討中の新カリキュラムの検討は進んでおり、その概要については大学案内「空の翼」学部小冊子「学部読本」に掲載し、2012年度入試受験者にお知らせする予定である。学位授与方針ならびに新教育課程の編成・実施方針の作成は検討中のため公表されていない。
小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
	(検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない
	(説明) ジョイントディグリー制度による他学部からの4年次編入学者は3名(2009年度は1名：法学部)であった。教育課程の適切性を検討した結果、新コース制を検討中である。現行の8コース制から5コース制へ移行し、学習レベルによる体系化を行う。上位科目となる学部・大学院の合併科目については、学部学生の大学院科目履修数は、1科目3名「上級ミクロ経済学I(2単位)であった。新コース制ではいっそう上位科目を見えやすく配置し、より学びたい学生が受講しやすく設定している。
その他	

《評価指標データ》

カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
 必修・選択ごとの開設授業科目数
 系列別卒業必要単位数

★ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

↓

《次年度に向けた方策(1)》伸長させるための方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項		注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。
小項目6.1.1		
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3		
小項目6.1.4		
その他		

↓

《次年度に向けた方策(2)》改善方策		注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。
小項目6.1.1		
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3		
小項目6.1.4		
その他		

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

- 「目標」1, 2, 3は、中項目6. 2の教育課程に重点を置いたもののように思われます。中項目6. 1では、ディプロマ・ポリシーの内容と早急な策定・公表に重点を置いた作業が望まれます。
- 小項目6. 3. 1「現状の説明」にある「教育目標」6項目と、本項目に掲げるディプロマ・ポリシーとの関係はどうなっているのでしょうか。

【学内委員】

- 設定された目標は具体的でわかりやすい。
- ディプロマポリシー、新カリキュラムの策定が待たれます。
- 学部・大学院5年一貫のカリキュラム体系を設置し、かつ学習レベルに応じた新しい5コース制へ移行するとの観点から、新カリキュラムを検討中とのことですが、既に2009年度においてこの構想は示されています。なるべく早く具体化の検討を終え、学位授与方針等を含めて学生や受験者に周知することが期待されます。
- 各種取り組みが進行中です。各目標をはじめ、各種取り組みが着実に進捗し、達成、実現されことを期待します。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

- 小項目6. 1. 1
基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件・修了要件）等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」
達成度評価：なし
- 小項目6. 1. 2
基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」
達成度評価：なし
- 小項目6. 1. 3
基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」
達成度評価：なし
- 小項目6. 1. 4
基盤評価：なし
達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★教育理念を達成する手段として教育目標があり、それを踏まえたディプロマポリシーの策定を2011年11月現在すでに終えており、最終的に修得してほしい知識、技能等について、学部HPに公表する。